

# 土と芽だより

令和5年1月 141号



発行



一般社団法人  
尼崎市手をつなぐ育成会

〒660-0051

尼崎市東七松町1丁目2-21

TEL06-6480-5845/FAX 06-6480-5846

E-mail: ikuseiama123@gmail.com

http://www.ikusei-ama.com/

新年おめでとうございます。今年は卯年ですね。うさぎは跳びはねることから飛躍、多産であることから豊穰や子孫繁栄のシンボルとされています。また仏教の「うさぎは飢えた老人のために自らを捧げた」という説話から、献身の象徴でもあるそうです。令和5年が私たちにとって躍動感あふれる素晴らしい一年となりますように。



## 部会・委員会



行事名	啓発キャラバン隊研修会（ZOOM）				
日時	10月12日（水）	場所	まんまるはうす	参加者数	3名
内容	<p>①話題提供：テーマ「こうやって広めました・つながりました」 花笠ほーぷ隊（古澤 薫 氏・長谷川 薫 氏）</p> <p>②シンポジウム：テーマ「教えて！地元の役所や学校とどうやって繋がったらいいの？」 登壇者 たつの市立小宅小学校 校長 山田晴人 氏 たつの市人権教育推進課長 津島威彦 氏 たつの市地域福祉課 中島恵子 氏 コーディネーター 全育連専務理事 田中正博 氏</p> <p>③実演 広島あび隊（小学校バージョン）</p> <p>④グループディスカッション テーマは「今日の感想」</p>				
行事名	福成会との話し合い				
日時	10月13日（木）	場所	中央北学習プラザ	参加者数	36名
内容	<p>議題「福成会の現状と将来の展望」</p> <p>1. 高齢化にともなった日中活動について 2. GHの現状と今後の展開について 3. まつばモデルについて 4. 福成会でのコロナ感染対策について 5. 見守りカメラ設置について 6. その他</p> <p>以上の事に関して宮下理事長、森所長（塚口福成園）、島総務部長、柏原所長（チャレンジ・コヤリバ）山元所長（サポートセンターまつば）から説明を聞く予定だったが時間不足の為後日再度話し合いをする。</p>				



行事名	県福祉大会（阪神地区保護者研修会併催）				
日 時	10月21日（金）	場 所	猪名川町立中央公民館	参加者数	23名
内 容	<p>大会セレモニー</p> <p>1. 開会のことば 猪名川町手をつなぐ育成会 会長 多田千景</p> <p>2. 大会会長挨拶 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長 井上三枝子</p> <p>3. 理事長表彰・感謝状贈呈</p> <p>4. 来賓祝辞 兵庫県知事 斎藤元彦氏 （代理 兵庫県福祉部 次長 村上恵一氏） 猪名川町長 岡本信司氏 全国手をつなぐ育成会 会長 久保厚子氏</p> <p>5. 来賓・主催者紹介</p> <p>6. 講演 *「これからの育成会に望むこと」 講師 全国手をつなぐ育成会 会長 久保厚子氏 *「兵庫県におけるユニバーサルツーリズムの推進について」 講師 兵庫県産業労働部観光局 局長 白川智子氏</p> <p>7. 大会宣言 猪名川町手をつなぐ育成会 副会長 糸井陽子</p> <p>8. 次期開催地のあいさつ 姫路地区手をつなぐ育成会 会長 山田直恵</p>				
行事名	RPM講演会				
日 時	10月25日（火）	場 所	中央北生涯学習プラザ	参加者数	40名
内 容	<p>講演：「ラピッドプロンプト法についてのお話し」</p> <p>講師：鈴木麻子氏</p> <p>*RPM（ラピッド・プロンプティング・メソッド）の療法を通じて知的障害・自閉症の行動や本来の知性を理解し、本人たちの持っている力を表出する方法を学ぶ。</p>				
行事名	AプロチームⅢ委員会				
日 時	11月10日（木）	場 所	まんまるはうす	参加者数	14名
内 容	<p>協議事項</p> <p>1. まんまる訪問 （1）見学時の確認リスト （2）訪問グループホーム一覧 （3）担当者 （4）訪問日程 （5）訪問マニュアル</p> <p>2. その他 すずかけ作業所（高齢者事業所）見学 ⇒ ワーキング委員</p>				
行事名	父と母の学校				
日 時	11月16日（水）	場 所	中央北生涯学習プラザ	参加者数	17名
内 容	<p>演題 「尼崎の歴史 ー尼崎城のナゼをひも解くー」</p> <p>講師 尼崎市立歴史博物館 学芸員 桃谷和則氏</p> <p>*尼崎城が築城された背景やその歴史について話を聞く。 平成31年（2019）3月に尼崎城が開城した。現在の尼崎城の前に、尼崎城は2回建設されていて現在の尼崎城は3代目になる。</p>				



行事名	第3回阪神地区手をつなぐ育成会連絡協議会				
日時	11月22日(火)	場所	猪名川町福祉総合センター	参加者数	3名
内容	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県育成会からの情報</li> <li>2. 各市・町情報交換</li> <li>3. 県福祉大会(阪神地区保護者研修会併催)について</li> </ol> <p>&lt;感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久保会長の講演が良かった。今後の育成会活動の方向性がはっきりした。</li> <li>・ユニバーサルツーリズムを兵庫県で推進していることは障害者の社会への受け入れ態勢が進んで来たことの表れで喜ばしいことだ。</li> <li>・久しぶりに阪神地区各市町の会員が現地に集まったことで良い刺激になった。</li> </ul> <p>4. その他</p> <p>*令和5年度阪神地区手をつなぐ育成会保護者研修会  日時: 令和5年(2023)年10月5日(木)  会場: 西宮市フレンテホール(JR西宮駅南側 フレンテ西宮5階)</p>				
行事名	令和4年度 県親なきあと相談会				
日時	11月25日(金)	場所	中央北生涯学習プラザ	参加者数	22名
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会あいさつ 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長 井上三枝子</li> <li>2. 講演 「親なきあとの準備(財産管理)について」 講師 弁護士 福島 健太 氏</li> <li>3. 閉会あいさつ 尼崎市手をつなぐ育成会 会長 鳥居祐紀</li> </ol> <p>*個別相談…4名の方が個別相談を受ける。</p>				
行事名	AプロI(子育てカフェ Part1)「元校長先生との座談会」				
日時	11月29日(火)	場所	まんまるはうす	参加者数	11名
内容	<p>講師: 正木伸明氏(前長洲小学校校長、現再任用教諭・初任者指導担当)</p> <p>元校長先生をお招きして先生からお話をお聞きした後、40分間質疑応答が行われた。先生からは、先生から子ども達への関わり方や、成長する子どものお話、インクルーシブ特別支援教育の在り方について、校内研修・教育支援員・特別支援教育推進委員会など、どんな組織がどんな支援を行っているかなどお話を聞く。</p> <p>*感想</p> <p>先生からは「支援級は個の力を伸ばして、人間関係を築く場」「交流級は集団に慣れることや社会性を身につける場」と考えておられるということで「出来ないから支援級へ入る」のではなく、「出来ることを探しに行く場所」というお話が印象的だった。</p>				
行事名	尼崎再発見! 第8弾「尼崎歴史博物館で学ぼう」				
日時	11月30日(水)	場所	尼崎市立歴史博物館	参加者数	14名
内容	<p>歴史博物館の桃谷先生に館内を案内して頂く。</p> <p>11月30日まで特別展があり初代市長(桜井忠剛)の油絵など、貴重な作品を見学し、勝海舟とのご縁の話を伺いその後、古代から現代までの尼崎の歴史を聞き、桃谷先生が分かりやすく、楽しくお話して下さり1時間半があっという間に過ぎた。</p>				



行事名	幼児期・学齢期研修会（就学前座談会）				
日時	12月12日（月）	場所	教育障害福祉センター	参加者数	14名
内容	<p>就学に関する相談が気軽に出来る場として、地域の支援学級に通うお子さんのいる先輩母3名、特別支援学校に通うお子さんのいる先輩母2名をお迎えしてお話を聞く。</p> <p>&lt;感想&gt;</p> <p>事前にアンケートにて質問を聞いていたので、その内容にそってお話して頂きました。入学前に求められること、1日の流れ、行事をどのように参加しているか、学校への付き添いなど先輩のお母さんよりお話を聞いたが、どの学校も内容が違って皆さん驚かされていた。様々な事例を聞く事で就学した後で学校で良い関係を築いて、楽しく過ごせたらと願っている。</p>				
行事名	AプロチームⅢ委員会（グループホーム訪問担当）				
日時	12月12日（月）	場所	まんまるはうす	参加者数	6名
内容	<p>*グループホームを訪問するときの確認リストの最終確認。</p> <p>*グループホームへの事前連絡、当日のグループホームとのやり取りの確認。</p>				
行事名	第3回心障連役員会				
日時	12月14日（水）	場所	まんまるはうす	参加者数	4名
内容	<p>協議事項</p> <p>1. 父と母の学校報告と反省（出席者29名、内来賓3名、講演者1名）          講演：「尼崎の歴史～ナゼをひも解く～」          講師：尼崎市立歴史博物館 学芸員 桃谷和則先生</p> <p>会計報告</p> <p>2. 成人式・還暦祝と新年おめでとう会（令和5年1月8日）          新成人15名          （育成会0名、肢体不自由児者父母の会4名、一般11名）          還暦1名          当日の役割分担を決める。</p> <p>3. その他 次回役員会 3月3日（金） 10時30分～ まんまるはうす</p>				



### 訃報

- 10月 合田悦二様（清流園 合田慎司さんのお父様）  
 石井哲也様（サポートセンターまつば 石井万由子さん、良祐さんのお父様）
- 11月 寺本武博様（塚口福成園七松分場 寺本武嗣さんのお父様）
- 12月 山本 博様（清流園 山本量子さんのお父様）

こころよりご冥福をお祈りいたします  
 （報告月を記載しています。ご了承下さい。）



# 理事会報告



第 11 回理事会 10/14

第 12 回理事会 12/9

## 協議事項

1. 中間監査について
2. 各部・研修会報告
3. その他
  - ・10/21(金) 阪神地区保護者研修会について  
…観光バス 1 台で2か所から送迎

## 協議事項

1. 地区懇談会について 10時30分開始
  - \*中央・大庄地区 2月21日(火)中央北生涯学習プラザ
  - \*小田・園田地区 2月24日(金)小田南生涯学習プラザ
  - \*立花・武庫地区 3月2日(木)立花南生涯学習プラザ
 内容…成年後見制度の今後の見通し
2. 選考委員について
  - 本部 2 名 (会長、井上恵)、施設理事 2 名 (村中、川端)、
  - 地区理事 1 名 (宮城)、監事 3 名 (吉岡、新本、山畑)、計 8 名
  - 委員長 (吉岡)
3. 各部・研修会報告
4. その他
  - ・令和 5 年度手をつなぐ購読について (毎年確認)



# 行事報告

月 日	曜日	行 事	月 日	曜日	行 事
10/4	火	歴史博物館下見	11/25	金	県親亡き後相談研修会
10/6	水	中間監査	11/27	日	難病連フォーラム
10/11	火	役員会	11/29	火	子育てカフェ
10/12	水	啓発キャラバン隊研修会(ZOOM)	11/30	水	尼崎再発見(歴史博物館)
10/13	木	福成会との話し合い	12/3	土	キッズニア甲子園
10/14	金	理事会	12/7	水	まんまるはーと(人権啓発オピニオンリーダー研修会)
10/21	金	阪神地区保護者研修会	12/8	木	福成会理事会
10/25	火	RPM講演会	12/9	金	理事会
10/28	金	元県障害福祉局長崎濱様との懇談会	12/12	月	就学前座談会、AプロⅢ委員会(GH訪問担当)
11/10	木	チームⅢ委員会	12/13・19	火・月	成年後見制度利用促進講座
11/11	金	バザー直付け・役員会	12/14	水	心障連役員会
11/12	土	ミーツ・ザ・福祉(バザー)	12/16	金	すずかけ作業所見学
11/16	水	父と母の学校	12/20	火	自立支援協議会くらし部会
11/22	火	阪神地区連絡協議会	12/26	月	自立支援協議会全体会・社会保障審議会

## 令和4年度 要望書回答

### 1. 地域で安心して暮らせる尼崎に

#### ●積極的な高齢化対策を

##### \*共生型サービスの推進(高齢知的障害者の受け入れ先の確保)

【回答】共生型サービスの指定申請にあたっては、事業者に対して丁寧な説明に努める。

##### \*グループホーム以外の日中活動の場での入浴支援を推進してほしい

【回答】在宅生活の障害者の重度化・高齢化も進む中受け入れ可能な事業所の更なる充実が求められているため、新たに生活介護事業所での居室や浴室のバリアフリー改修を含め在宅生活における更なる整備に取り組む。

#### ●福祉支援員の人材育成

【回答】各サービス従事者向けの専門的な養成研修等については兵庫県が主体となって開催している。市内の各指定事業所には市ホームページ等を通じて受講案内を行っている。各指定事業所のネットワーク会議を定期的に行いサービスの質の向上や従事者のスキルアップに繋げられるよう取り組んでいる。

#### ●日中一時支援事業所の充実(成年期)

【回答】平成 29 年度より事業所の指定登録基準を緩和し、日中活動系サービス(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援(B型))の事業所が参入できるようになった。(送迎加算片道 540 円の創設)

#### ●現在 18 歳までは放課後等デイサービス利用のみになっているが、高等部在学中から将来を見据えて移動支援サービスへの移行に柔軟な対応を(学齢期)

【回答】高等部の子どもについては、南北障害者支援課にご相談下さい。

### ●移動支援先の地域拠点づくり

【回答】まんまるはうす利用は見守りを目的としており移動支援で利用することは事業の趣旨には馴染まない。

### ●緊急時のショートステイ受け入れ態勢の確立（児童・成人）

【回答】住み慣れた地域で安心して暮らして行けるよう、平成30年1月から居住支援のための機能を有した地域全体で支えるサービス体制（地域生活支援拠点）を整備している。

### ●災害時・感染症対策における知的障害児・者への適切な対応

#### \*避難先の充実（ホテル等の活用や、避難所での合理的配慮への対応と理解）

【回答】

（災害時）知的障害児者の方など、避難場所での生活に配慮が必要な方については、避難受付時にトリアージを行い、状況に応じ、要配慮者スペースへ誘導することとしている。

（新型コロナウイルス感染時）南北保健福祉センターの障害者支援課や保健所、特定相談支援事業所間において、連携を密にとり普段から関わりのある事業所にサービス提供をお願いするなど、速やかに、生活に必要なサービスが確保できるように努める。

#### \*自宅避難における支援の受け方の周知

【回答】新たに導入した「要支援者システム」の情報や南北障害者支援課が把握している障害児者の情報等を活用し自宅待機している要配慮者の安否確認や必要な援護活動（災害時の情報伝達を含む）を行うとともに、保健所や特定相談支援事業所間において連携を密にとり、生活に必要なサービスが確保できるように努める

#### \*災害時要援護者個別支援計画の作成

【回答】災害時要援護者支援連絡会を通じて当事者や支援関係者の皆さんの意見を頂き、本市における考え方を整理し、計画的に取り組みを進めて行くことにしている。

### ●かかりつけ医機能が発揮される制度の整備

【回答】国において「不当な差別的取り扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」を示した医療関係事業者向けガイドラインが策定しており、その周知が図られる。今般のコロナ禍においては、受診が断られるケース等が相次いだことは認識している。国において、かかりつけ医に求められる役割の明確化など医療法の改正に向けた検討が進められているため、国の検討状況に注視しつつ、本市の医師会や医療機関等との連携を図りながら必要な対応に努める。

## 1. 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進

### ●小学校入学時には、すべての子どもを地域の学校で受け入れ可能に

【回答】就学先の決定については、本人、保護者に十分な情報提供を行うとともに、保護者の意向を最大限に尊重し、保護者、学校、必要に応じて市教育委員会も含め、合意形成を図るように学校に指導している。インクルーシブ教育の推進にあたっては、一人ひとりの教育的ニーズに最も的確に答える指導支援を行うことが出来るよう、行内の支援体制の充実に努めている。

### ●学校関係者および児童に向け、知的・発達障害の疑似体験等による障害理解の促進を

【回答】共生社会の実現に向けては、すべての幼児児童生徒が多様性を理解し、共に尊重しあう態度の育成を図り、交流及び共同学習の一層の充実を図る。教職員については、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の特性等に関する研修等を通じて、理解、啓発に努める。

### ●学校現場での人材確保（介助員・ボランティア等）

【回答】市報や市HP等を通じて支援を必要とする児童生徒に支援ができる人数の確保に努めている。

## 1. ICTを活用した自立活動等で、教育効果が高まるような方策を

### ●コミュニケーションツールや本人のスキルアップにつながるよう、タブレット端末を積極的に活用

【回答】市内の公立小・中学校においては、令和2年度から1人1台タブレット端末を貸与し、個々の教育的ニーズに応じて、タブレット端末の写真・音声・色付き付箋・プレゼンテーション機能などを用い、障害特性に応じた支援の充実に努めている。

### ●学校による格差をなくすため、好事例の共有を

【回答】個々の教育的ニーズに応じて音声教材等を活用するなど、障害に応じてタブレット端末を活用した取り組みを進めている。今後も好事例を共有すること等を通して、効果的な活用を検討する。

## 1. 兵庫県立阪神特別支援学校を市内に移転

【回答】要望が強く挙がっていることは認識しており意見交換する機会があれば県教育委員会に引き続き伝える。